



ウォータープロジェクトの新たな展開について

令和5年2月28日

環境省水・大気環境局水環境課

普及啓発の取組

水の日イベント「水はめぐるオンライン講座」

- 日時：令和4年8月3日（水）・4日（木）
- オンライン開催（Zoom）



「水の日」関連行事として、水源地、浄水場、水再生センターの動画を確認し、クイズを交えながら、わたしたちが生活の中で使ったり飲んだりしている水はどこから来て、使った後はどこへ行くのか、子供たちと一緒に水の大切さについて考えました。

安曇野環境フェア2022 「水」×SDGs体験教室

- 日時：令和4年10月9日（日）
- 安曇野市穂高会館・体育館アリーナ



健全な水循環について考えるきっかけとなるよう、動画やクイズを交えながら水循環について学び、水の湧き水・地下水が天然のろ過により澄んだおいしい水になっていることや、浄水場での砂ろ過の仕組みについて、ろ過装置の作成体験を通して学びました。

ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾」

- 気候変動等を背景に、水リスクへの対応が持続可能な経営の主要素となっている。
- 共通目標（SDGs）と、これに対応する企業の活動状況（ESG情報）を投資判断等につなげる動きがある。

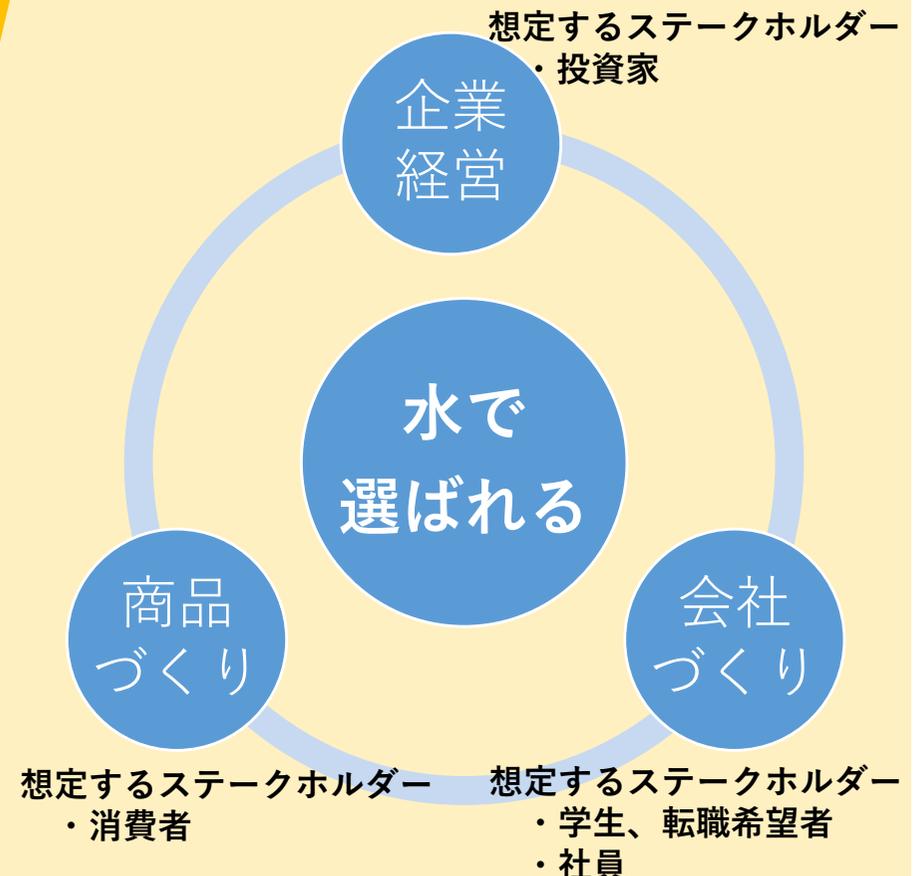
「水」に関して何にどう取り組むべき？

- 民間企業等が「水」に関する互いのグッドプラクティスを共有し、それぞれの取組をブラッシュアップする場として、平成31年4月に「グッドプラクティス塾」を発足。（発起人：環境省、一般社団法人Water-n）



目標像：水で選ばれる企業に

- 水に関して、何にどれくらい取り組むべきかを考え、
- その実態についていかに伝え、各ステークホルダーといかにコミュニケーションを深めるかを考え、
- もって『水で選ばれる』の実現へ



2022年度 グッドプラクティス塾開催概要

- 「水辺の保全・活用における連携の新たな形」をテーマとし、健全な水環境・水循環の実現に向けて、企業、自治体、教育・研究機関等、あらゆるステークホルダーの参加と連携を促すための情報共有・意見交換の場として開催
- 既存のプラットフォームや様々な連携体による水辺の保全・活用の取組から、取組段階での課題や取り組むことでのインセンティブ等を共有するとともに、企業、自治体、教育・研究機関等がどのような役割分担でどう連携できるのかを探り、水辺の保全・活用に向けた連携による取組の拡大を目指す。

開催回/時期	テーマ	内容
第1回 (令和4年10月)	水辺の保全・活用における連携の新たな形 ～産・民の視点から～	<ul style="list-style-type: none">● 【話題提供】経団連自然保護協議会の取組と他主体との連携 (経団連自然保護協議会 事務局長 長谷川 雅巳 氏)● 【事例発表】 竹芝干潟の整備・市民協働の取組 (一般社団法人竹芝タウンデザイン(東日本旅客鉄道株式会社) 岡崎 恭子 氏) 河川基金や河川教育等における他主体とのつながり (公益財団法人河川財団 横森 源治 氏)
第2回 (令和4年12月)	水辺の保全・活用における連携の新たな形 ～官・学の視点から～	<ul style="list-style-type: none">● 【話題提供】持続可能な水循環を実現する多主体連携－緑の流域治水や自然再生をきっかけとして－(熊本県立大学 特別教授 島谷 幸宏 氏)● 【事例発表】 福島県環境創造センターにおける環境教育について (福島県環境創造センター 西原 聖礼菜 氏) 地下水資源の保全・活用における連携－水循環可視化研究から市民の取組まで－ (長野県安曇野市 藤原 慎悟 氏)
第3回 (令和5年2月)	水辺の保全・活用における連携の新たな形 ～ウォータープロジェクトのこれから～	<ul style="list-style-type: none">● 【話題提供】環境省ウォータープロジェクトの新たな展開について (環境省水・大気環境局水環境課 長谷川 史明)● 【事例発表】 まるごといんばぬま ～人を繋ぎ・想いによりそい・未来へ紡ぐ～ (まるごといんばぬまプロジェクト副代表兼事務局長 久保田 隆志 氏) 持続可能なグリーンインフラと多主体連携 (鹿島市ラムサール条約推進室室長補佐 江島 美央 氏)

良好な水循環・水環境創出（令和5年度～）

- 30by30目標達成に向けた生物多様性保全や地域づくり等にも資する総合的な水環境管理を目指す
- 優良事例を形成・普及させるためのモデル事業を実施
- 地域づくり活動の活性化等を目的に、令和の水の選定を見据えた水循環・水環境創出活動のあり方を検討



住民による水辺の保全活動事例

企業 NPO 住民 学校 行政

事例・情報・連携

総合的な水環境管理に関する
モデル事業の実施



【令和の水】
全国的な取組の展開

認知度の向上
地域づくり活動の活発化



水辺を活用したイベント事例



地域に親しまれる水辺
のイメージ



豊かな水辺のイメージ

Water Project 新たなプラットフォーム

■水環境を活用した地域づくりモデルの提示

【良好な水環境のコンセプト「地域で守り育み活かす」】

- 継続的な水辺活動、小さな自然再生、流域や地域全体での取組
- OECMなど生物多様性関係施策との効果的な連携
- 地域間の連携の機会を提供(偶発的ネットワーク構築に期待)

モデル事業
の実施

■水環境の活用・保全の取組促進

【取組促進のために効果的な支援と連携の機会を提供】

- 事例の共有、既存知見(ガイドライン等)の共有
- メールマガジン、SNS等による情報発信
- 連携促進の場づくり

- 水の日イベント(毎年8月)
- グッドプラクティス塾(年3回程度)
- CDPセミナー(毎年2月)
- シンポジウム

■水辺の活動ツールの活用促進

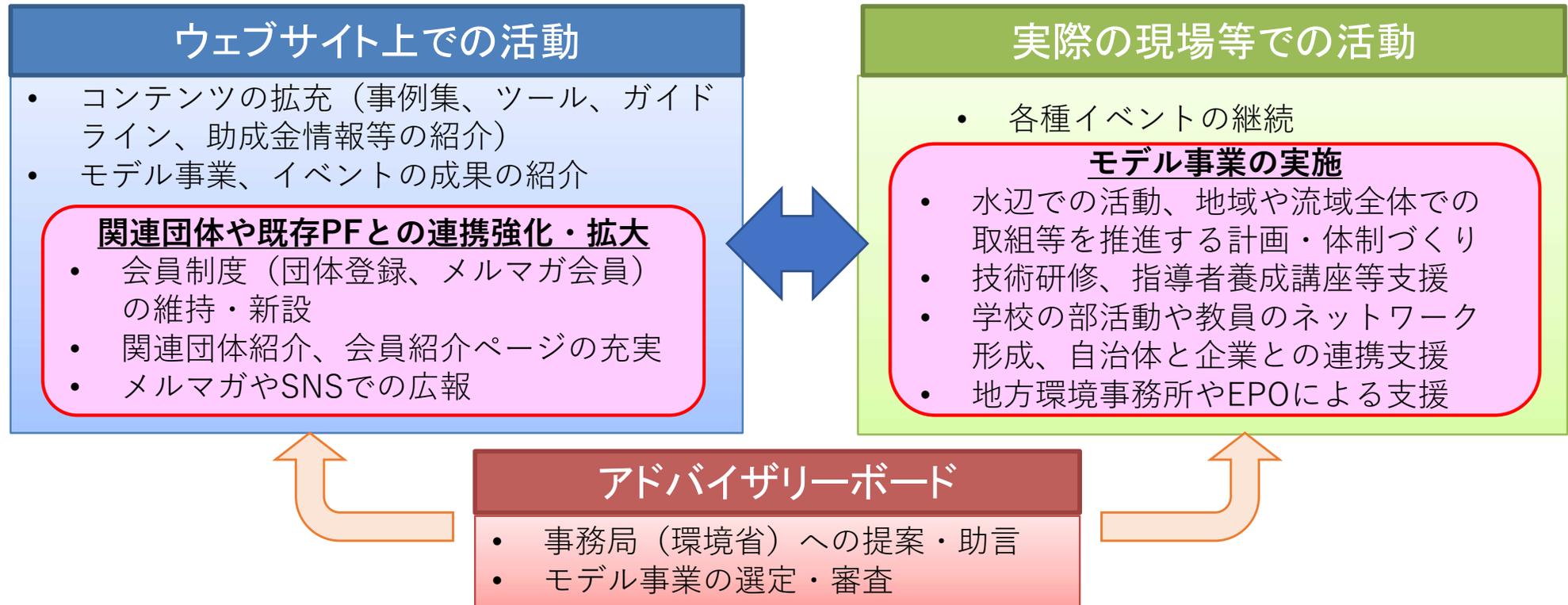
【現場で役立つ実践的な支援】

- 既存のツールの普及(特に教育分野)
- 他省庁・団体の取組との連携
- 地域の取組の発表の場づくり

- 映像コンテンツ(学習教材等)
- みずしるべ等のツールを活用した水辺評価の実践
- 全国水生生物調査、こどもエコクラブ等の活動成果の発表の場との連携
- 理科教員やクラブ活動、大学プログラムとの連携
- ESD活動支援センター等の既存研修との連携

Water Project プラットフォームのコンセプトと活動方針

コンセプト：健全な水循環に資するよう、森里川海や地域循環共生圏の概念も加え、各地域での様々な水環境の活用と保全の取組推進を目的としたプラットフォーム



【活動により実現したい、水環境の活用と保全の具体的な目標（案）】

- ① 小さな自然再生等の地域で活動の推進（水生生物の生息場の確保や水質改善の達成、水辺の機能・便益の増進）
- ② 水環境の活用・保全 活動に関わる方の増加、活動事例の紹介による市民の水環境への 関心の増進、水環境の 活用ニーズ・満足度の向上と 保全活動との好循環
- ③ 個人・家庭レベルでの水環境保全への 取組（エシカル思考等）の普及、地域の活性化（社会・経済への貢献）

ウェブサイト上での活動

2022年度の実施概要（ウェブサイトリニューアル）

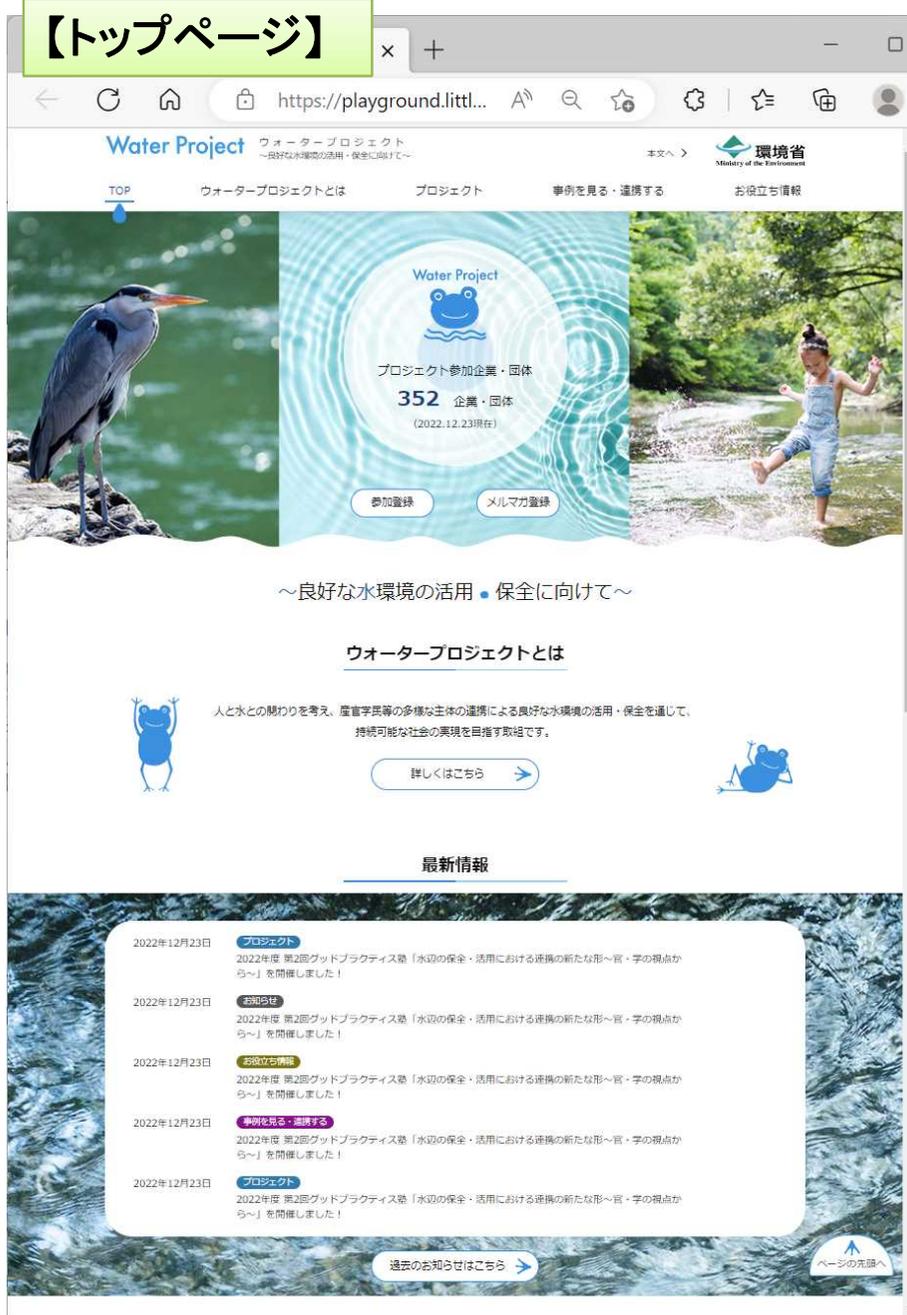
- ・ 連携団体、事例集、ツールの紹介
- ・ 活動団体の取材動画作成・掲載
- ・ イベント結果の掲載（継続）
- ・ 関連プラットフォームの紹介（ミズベリング、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム等）

→年度末に公開予定

2023年度以降の拡充の方針（案）

- ・ 連携団体、事例集、ツールの追加
- ・ モデル事業団体の取材動画作成、掲載
- ・ プロジェクト会員ページの更新・追加
- ・ メルマガの開始／登録募集
- ・ 基金・助成金等の情報の掲載
- ・ 関連プラットフォームの追加（水循環政策本部PF、A-PLAT等）
- ・ その他コンテンツの追加 など

リニューアル後のウェブサイト（イメージ）



リニューアル後のウェブサイト(イメージ)

【事例を見る・連携する】



動画



事例集・資料集

水に関する団体・プラットフォーム

